



28面 ニュースでえいGO!—神戸のスパコン「京」

29面 発達障害児への対応、教育現場は—

投稿や情報提供、意見、感想をお待ちしています。
〒650-8571、神戸新聞「週刊まなび」編集部、ファ
クス078・360・5512、電子メールkyouiku@kobe-np.co.jp



マナちゃん ナビくん

みくさしょうがっこう (加東市上三草)
三草小学校

わがまちの**宝**
さがし



大西勝さんから茶畑がつくられたころの話を聞く
子どもたち=加東市上三草 (撮影・辰巳直之)

こくない
校内の茶園
ちゃえん

いつまでも残ってほしい



6年1組 白井梨乃さん 兵庫県で
お茶畑がある小学校は珍しいと思いま
す。味も普通に売っているお茶よりも
おいしい。私がおばあちゃんになっ
ても残っていてほしいと願っています。

お宝ポイント

茶つみ体験でできてラッキー



6年1組 金川結人君 豊岡市から
引っ越してきたので、お茶をつみ体験
ができるのはとてもラッキーです。大
西さんの話で、古くから続く歴史のあ
る茶畑だったことも分かりました。

多くの人に飲んでもらいたい



6年1組 神田三太君 お茶畑が今
よりもっと大きかったことを聞いて、
とても驚きました。ここで採れるお茶
は少し苦いけれど、体にもいいし、せ
び多くのの人に飲んでもらいたいです。

ちいき ひと たいせつ さいばい 地域の人と大切に栽培

1957年からお茶を植える準備を始め、当時中学3年生だった大西さんも深さ約80センチ、幅80×90センチの穴を掘り、肥料となるササを入れたそうです。大西さんが卒業して3年後ぐらいから種を植えました。当時は今の3倍ほどの面積があったそうです。山城あゆみ校長先生は「地域とつながりかけの場所になっている」と話します。この茶畑を大切に守っていきたいと思います。

この茶畑は、いつごろできたのでしょうか。地元の三草区長の大西勝さん(67)によると、この場所には以前、三草中学校があり、サツマイモや花などが植えられていたそうです。1957年からお茶を植える準備を始め、当時中学3年生だった大西さんも深さ約80センチ、幅80×90センチの穴を掘り、肥料となるササを入れたそうです。大西さんが卒業して3年後ぐらいから種を植えました。当時は今の3倍ほどの面積があったそうです。山城あゆみ校長先生は「地域とつながりかけの場所になっている」と話します。この茶畑を大切に守っていきたいと思います。

三草小周辺は茶の産地で、「播磨やし茶」の名で地元を中心に人気がある。三草小の三草茶は1965年ごろから大量に作られている。当時は三草中だったが、中学の統合などで、78年に三草小が移転してきた。茶つみには今年も約300人が参加した。